



あまみ



© Amami city

第46号

平成29年9月発行

市議会だより



第54回奄美まつり舟こぎ競争大会(奄美市議会チーム)

第2回定例会

平成29年6月13日～7月3日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール: gikai@city.amami.lg.jp

第2回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～7P

第60回奄美群島市町村議会議員大会・・7P

第9回議会報告会・・・・・・・・・・8P～10P

平成28年度の政務活動費報告・・・・・・・・11P

常任委員会の所管事務調査・・・・・・・・12P

第2回定例会の主な議案・・・・・・・・・・13P

第2回定例会常任委員会の審査概要14P～15P

議会の動き・・・・・・・・・・16P

第2回定例会

一般質問

6月14日、15日、16日の三日間で15名の議員が市政全般について市当局に問いただしました。
要約を紹介します。

(質問順に掲載)

給食センター移行の問題点と、その改善策は

渡 雅之 (無所属)



動画視聴



なものであり、検討したい。

問 給食センター移行の問題点と、その改善策は

問 文化センターの中央歩道に屋根の設置を

答 歩行弱者や高齢者の皆様の利便性向上に必要

答 4千食規模では12名の調理員となっているが、適正な職員配置を検討したい。給食センターは2献立を予定しており、会場食材の30%を確保した

い。学校給食で何らかのアレルギー食対応をしている児童生徒は65名で、それぞれの名前の食缶使用や、給食受け渡し時の名前確認、更には養護教諭との連携等二重三重の安全対策を取る。

問 国立公園ビジターセンターの設置個所は

答 ビジターセンター等の施設整備については、周辺の自然環境や交通体系、更に観光客の動線を

検索

奄美市議会 議会登録配信

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

奄美群島離島留学支援事業

概要について

師玉 敏代 (自民新風会)



動画視聴



問 市集落周辺の採石場による、赤土流出防止の具体策は

答 防砂マット、沈砂池の定期的な浚渫等の提案を行っている。漁場、生活圏への影響など憂慮しており、流出防止策が十分なされているか調査し、県側に強く対応を求め、総合的に協議を進めている。

問 赤土等流出防止条例の制定について

答 世界自然遺産登録を控えた大事な時期であり、地域の環境保全、景観保

全を図るため、県へ「赤土等流出防止条例」の制定に向け、「大島本島地区赤土等流出防止対策協議会」で協議を行っていき

問 奄美群島離島留学支援事業概要について

答 小規模校の良さを生かし、奄美の生活に触れる。少人数のきめ細やかな指導から、児童生徒の心身の伸長、小規模校の活性化、地域の活性化の気運を高めるなど、校区を中心に里親留学制度を進めていく。

その他の質問事項

○マングローブ群生地から山間港の土砂堆積調査と土砂除去について。

○地域型保育の三歳児の受け入れ体制について。

末広港線のバス路線及びバス停、信号機の整備について

さきだ のぶまさ
崎田 信正
(日本共産党)



動画視聴



問 末広港線のバス路線及びバス停、信号機の整備についてと駐車場は最終的にどうなるのか

答 バス路線は、「奄美市地域公共交通網形成計画」の策定過程で検討を行う。

信号機及び横断歩道について、奄美警察署は、末広港線の供用開始後の交通実態にに応じて必要性を判断したいとしている。引き続き奄美警察署と協議していきたい。

駐車場は、一力所に集約し、利便性を図る計画だったが、当初計画と若

子育て支援について

おおさこ かつし
大迫 勝史
(公明党)



動画視聴



問 待機児童解消にむけての具体策を伺う

答 将来的に子どもの人数が減少傾向にあるため、新たな保育施設の設定はリスクが大きいことから、

問 準要保護の就学援助金・入学準備金は、必要となる2月から3月に支給すべきではないか

答 適切な時期の支給に、前向きに取り組んでいきたい。

問 認定こども園設置の具体的なスケジュールを伺う

答 「奄美市公立幼稚園の在り方検討委員会」で決まった方針では赤木名幼稚園と赤木名保育所が

奄美世界自然遺産登録記念フルマラソンの実施について

つばた まこと
津畑 誠
(無所属)



動画視聴



問 交流人口の拡大及び経済の活性化につながるフルマラソンについて

答 桜マラソンを上回る経済効果が期待されるが開催に要する費用、ボランティアの人員等、観光振興の観点から費用対効果も検討する必要がある。

問 フルマラソンの受け入れ態勢について

答 今後、いろいろな情報を収集して、検証研究していく。

問 ふるさと納税制度について

答 平成28年度の実績は2896件、9056万円である。また、ふるさと納税の謝



認定こども園



住用町市の採石場からの

赤土流出対策について

三島 照 (日本共産党)



動画視聴



問 住用町市の採石場からの赤土流出対策について誰と協議したか

答 今年の4月26日大島支庁と本市の関係部署で行っている。

問 陸上自衛隊ミサイル部隊の受入れについて市民団体からの公開質問に答えなかった理由は

答 法的に回答の義務がないこと。質問の多くが入り口論であり、事業が進捗している現状において建設的議論がされない事。

問 国民保護法による住民の避難計画は、どのようなになっているのか

答 奄美市国民保護法による住民の避難計画は策定している。防災訓練や自治会情報連絡会などで周知を図りたい。

12市町村の小学校、中学校、

高校の遠征の負担について

松山 さおり (自民新風会)



動画視聴



問 中高生の県大会参加助成について、鹿児島市内に宿泊施設を確保するにあたり、協議委員会を設置できないか

答 広域的に関係町村も含め、慎重に検討したい。

問 12市町村の小学校、中学校、高校の遠征の負担について

答 スポーツ大会及び文化・芸術において九州大会や全国大会へ出場する小・中学生に対し、上限を定め、交通費と宿泊費の二分の一を助成している。

奄美市以外の群島内11町村では、小・中学校につ

いては金額の上限はあるが、各スポーツ大会等に対しての遠征費補助を限度額を定め、予算の範囲内で負担しており、高校は宿泊費の一部と船運賃は全額各高校が負担している。

問 観光地（景勝地等）となる笠利地区のトイレの数について

答 観光地等に16箇所、漁港等に5箇所、公共施設3箇所、計24箇所に設置。設置場所は観光マップや観光地・集落に設置している観光案内板等で表記している。

農業対策について

川口 幸義 (自由民主党)



動画視聴



問 農業対策について終息後のミカンコミバエについて

答 奄美本島では、平成27年6月30日に名瀬地区でミカンコミバエ1頭が誘殺されて以来、奄美市笠利町を除く全市町村で誘殺が確認されて以降ミカンコミバエ種群の継続的な誘殺とともに寄生果が確認されたことから、平成27年12月13日からは植物防疫法に基づく緊急防除が始まった。この結果、平成28年7月14日にミカンコミバエ種群の根絶を確認し、緊急防除が解除された。

問 農業対策について水土里サークル活動は

答 多面的機能支払交付金事業の目的については、地域の農地、農業用水等の資源を適正に管理し、これからの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する取り組みを実施し、集落機能の活性化を図ることを目的としている。活動内容については、農用地・農道・水路・ため池等の点検・機能診断・計画策定・研修・草刈り・泥上げ等を行うことになっている。

成年後見制度利用促進基本計画の

策定について

橋口 耕太郎
(公明党)



動画視聴



問 本計画の奄美市の見解について

答 本市においては、全国を上回る高齢化率の推移や、独居高齢者、認知症高齢者の増加などを考えると、成年後見制度の積極的な活用は必要不可欠。本計画は、本市が抱える課題解決に向け非常に有効であり、関係機関と市町村がネットワークを構築することにより、市民後見人の活用につながるものと大いに期待する。

問 奄美市ホームページの更新サイクルについて

答 ホームページの更新

は各課所管の事業は担当課で更新。市民に市政情報を即時・正確に伝えると同時に、きめ細かな情報発信に努め、開かれた市政を目指す。

問 災害協定について

答 現時点で、自治体相互間2件、災害復旧7件、消防3件、緊急避難場所11件、福祉避難所3件、支援物資3件、支援物資の緊急輸送2件、情報の提供・発信3件の合計34件と協定を結んでいる。

その他の質問事項
○世界自然遺産登録の住民意識の醸成など



災害グッズ

自衛隊警備・ミサイル部隊配備の

現況について

関 誠之
(社会民主党)



動画視聴



問 自衛隊警備・ミサイル部隊配備の現況について

答 駐屯地は平成31年春開設予定、用地購入は朝日町（大熊町内会所有地）の他、佐大熊の市有地を平成29年2月28日2133㎡を1億330万で防衛局に売却した。

問 誘導弾ミサイル攻撃に対する住民の避難訓練をすべきではないか

答 実施時期や手法なども含めて今後、検討していく。

問 自衛隊駐屯地への給水に係る平成28年度に計

上した9759万円は年度内いくら収納されたか

答 年度内の受け入れはなかった。執行率85%の内6月13日で1934万2059円である。

問 名瀬・住用地区学校給食センターの現況について

答 運営面は昨年の検討委員会を受け、食育・アレルギー対策・地場産物活用・配送の6ルートなどについて協議している。

その他の質問事項
○臨時・非常勤職員の待遇改善について
○奄美大島紬協同組合販売協同組合の課題の対応

畜産の振興、新規参入新規担い

手の確保、支援体制について

奥 輝人
(自由民主党)



動画視聴



問 さとうきびの増産について、春植を推進される農家に、ロータリーと畝上げへの補助が付き、高齢者や大型専門機械等を持たない農家には、効果的である。来年度以降も継続できないか

答 国県の補助事業の導入は、可能か否かは、毎年実施される生育調査等で、産地の状況を総合的に判断される事になる。

問 畜産の振興、新規参入新規担い手の確保、支援体制について

答 肉用牛経営は、肉用牛の購入、牛舎整備、農

地の確保、飼料作物機械など設備投資の資金が必要である。そこで点在する空き牛舎、機械の借用市の貸し付け制度、市単独の農業後継者育成事業や、国県の事業を活用し、担い手の育成を図っていく。

問 赤木名・笠利線と佐仁・用集落間のトンネル構想について

答 赤木名・笠利線は、現在施行中の工事の早期完成を目指し、佐仁・用集落間は、2車線改良済であり、トンネル建設は、困難である。

LCC関西便就航の

経済効果について

戸内 恭次（無所属）



動画視聴



問 LCC関西便就航の経済効果について

答 4月・5月の2ヶ月間で、約5億800万円となる。

問 4月・5月の2ヶ月間での各離島間の利用状況について

答 徳之島28%増・沖永良部20%増・与論18%増・喜界31%増。

問 LCC継続維持支援のための基金創設について

答 公金を一部の営利企業に投入するのは困難。

問 今後のLCC支援のための奄振事業導入について

答 現在、本事業が試験的な取り組みとして実施されていることを踏まえ、国県、関係機関と十分議論し、制度の継続を要望していく。

問 「三儀山バイパス」整備について

答 おがみ山バイパスの早期着工を県に要望しているが、「三儀山バイパス」も早急に実現できるように要望する。

その他の質問事項

○島尾敏雄文学賞の件

○商店街の新アーケード建設の件

○ODV等、弱者救済施設の件。

産業支援・空き家活用について

多田 義一（自民新風会）



動画視聴



問 観光政策・海難事故防止に係る今シーズンの啓発活動は

答 宿泊施設やレンタカーへのチラシ等の配布や、海水浴場への看板設置等のほか、SNSを活用した「毎日の海の状況」の情報発信が好評であったことから、同サイトの周知拡大もあわせて今年度から実施する方向で検討していく。

問 消防本部と自衛隊との連携は

答 陸上自衛隊奄美駐屯地は平成31年度に配備となっており、今後、発生

が懸念される南海トラフ大地震や、台風、集中豪雨等の自然災害及び、世界自然遺産登録を見越し新規路線開設等による観光客の増加に伴う海難事故等に対応するため、各関係機関と連携し、訓練を合同で実施出来ればと考えている。自衛隊との協定については、重要なことと認識をしているので検討していく。

問 産業支援・空き家活用について

答 貸出すことを目的に戸建て住宅をリフォームする場合、費用の二分の一を最大100万円まで助成、空き家活用を促進している。

名瀬・住用地区学校給食センター

整備による財政効果は

安田 壮平（自民新風会）



動画視聴



問 世界自然遺産登録を視野に入れた「生物多様性地域戦略」の進捗状況は

答 26年度に大島5市町村で策定し、8つの重点施策など盛り込んでいる。進捗管理は奄美大島自然保護協議会で行うが、その評価方法などの整理を本市環境対策課で行っている。今後、その中身について公表したい。

問 名瀬・住用地区学校給食センター整備による財政効果は

答 来年度完成予定で総事業費は約17億円。自校

方式を維持すれば約45億円、センター2〜3カ所の整備では約23億円だが、いずれも土地の確保が困難である。

問 スクールソーシャルワーカー（SSW）の待遇改善が必要ではないか

答 不登校児童・生徒への対応や家庭への支援を行うSSWの時給は803円。保護者などからの電話相談や面談、家庭訪問など昼夜を問わず対応しており、今年度から私有車の燃料代を支給している。

紬協同組合と紬販売組合との

合併の方向性は

伊東 隆吉
(自由民主党)



動画視聴



問 紬協同組合と紬販売組合との合併の方向性は

答 損失補償をしている

本市の立場として、産地

両組合の機能及び業務を

再編すべきと考えており、

両組合の合併が望ましい

と考えている。

問 住用、城地区国道58号バイパス事業に関し所有者不明地活用促進で前進するの

答 現在、政府で検討の法案は、まだ具体的な中身も決まっておらず、適用可能か今後の国の動向

を注視したい。

問 鹿兒島―種子島―屋久島―奄美航路の新設要

望活動について

答 奄美琉球観光交流連

携体制構築事業において、

世界自然遺産周知促進の

為の共同プロモーション

や周遊旅行商品造成の予

定もあり、今後、関係機

関と共に推進していく。

問 末広、港土地画整理事業の現状は

答 進捗は事業費ベース

82%、移転契約ベース

92%、移転対象棟残り10

棟となっており、仮換地

等に関する時間を要した

為、国県と協議の上、3

年間延長し平成33年度の

事業完了見込み。

奄美群島市町村議会議員大会

第60回奄美群島市町村

議会議員大会が5月18日

与論町砂美地来館で開催

されました。

12市町村の議会議員や市

町村長が出席し、奄美群

島振興交付金を活用した

産業振興、人材育成施策

の拡充・雇用の場の確保

を図るとともに、地方創

生に向けた取り組みを推

進していかなければなら

ないと宣言。

各地区から提出された

6議案の採択と奄美群島

振興交付金の充実・拡充

など17項目の決議を可決

しました。

【採択された6議案】

① 沖永良部・与論地区に

おける無電柱化事業の早

期実現について（和泊町・

知名町・与論町）

② 主要地方道（伊仙～天

城線・伊仙～亀津～徳之

島空港線・花徳～浅間線・

松原～轟木線）道路改良

事業について（徳之島町・

天城町・伊仙町）

③ 主要地方道名瀬瀬戸内

線（名柄～久慈間）トン

ネルの早期実現について

（大和村・宇検村・瀬戸内

町）

④ 名瀬測候所の地方気象

台への格上げについて（奄

美市）

⑤ 国道58号（龍郷町役場

前から浜千鳥館前）の拡

幅改良について（龍郷町・

喜界町）

⑥ 奄美群島振興交付金の

充実・拡充について（議

長会）



奄美市の提案事項を説明する

橋口和仁総務企画委員長

あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成29年第3回定例会は9月1日開会です

一般質問は、9月6日（水）から11日（月）までの予定です。（質問者は未定）

議会の傍聴は奄美市役所名瀬庁舎6階へお越しください。議会で行われる本会議や一般質問は、インターネットの生中継でもご覧いただけます。

奄美市ホームページの「奄美市議会」「会議の傍聴」「議会中継」へとお進みください。

第9回議会報告会を開催

地域の課題について意見交換

【名瀬会場】

(A・i・A・i・ひろば)



【名瀬会場】

(浦上公民館)



【住用会場】



【笠利会場】



第9回議会報告会は、6月2日(金)に開催しました。

名瀬地区22人(男性15人 女性7人)・・・A・i・A・i・ひろば

名瀬地区28人(男性23人 女性5人)・・・浦上公民館

住用地区28人(男性27人 女性1人)・・・住用総合支所

笠利地区36人(男性31人 女性5人)・・・笠利総合支所

いただきましたご意見は、今後の議会報告会のあり方や議会運営の参考とさせていただきます。

奄美市議会では、開かれた議会をめざして市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。



今回、市民の皆様からいただいたご質問やご意見について、行政当局から回答があった部をご紹介します。

問 国道58号（おがみ山バイパス）の工事が名瀬中学校の前でストップしている。国、県との絡みもあるが、混み合うので是非、早めに工事をお願いしたい。

答 国道58号おがみ山バイパス事業につきましては、これまでにも早期再開の要望をしてきましたが、平成29年第1回定例会で採択された「国道58号おがみ山バイパス事業の早期再開に関する意見書」も県知事宛に提出しておりますので、事業の重要性も踏まえ引き続き要望してまいります。

問 旧工業高校跡地について、市への払い下げの計画等はないのか、現時点での見通しを教えてください。

答 現在、社会体育施設とし

て体育館・武道館・グラウンドを広く市民に開放しており、体育館と、武道館及びトイレ等付属施設の建物は県から市へ無償譲渡によりいただいております。又、3号棟の一部をインキュベート施設として奄美情報通信協同組合へ貸し出しております。今後、本年8月を目途に施設全体の跡地利用計画（案）を県へ提出し、無償譲渡をお願いしたいと考えております。

問 本茶峠の枯れ松がまだ多くある。通る時に落下するのではないかと感じている。一村ロードにもなっているのので早めに対応してもらいたい。

答 市道本茶線では、昨年度も枯れ松の伐採を行っておりますが、今後も引き続き伐採を行っていきたいと考えております。

問 と畜場は古く、住宅地域にあり、臭いが発生しているといった苦情もある。ぜひ別の場所で再整備をお願いしたい。

答 奄美市食肉センターは、昭和47年稼働であり、老朽化が激しいため、広域での新設を計画し、現在、奄美群島振興開発事業の活用も含め、国、県等と協議中です。

問 世界自然遺産に対する住民の意識の醸成がまだだと思える。啓発活動によって、ゴミなどの問題も解決していくのでは、ないかと思うのでぜひお願いしたい。

答 ご指摘のとおり、本市としても世界自然遺産登録に対する市民への意識醸成は十分と感じています。

現在、世界自然遺産登録へ向け、出前講座や住民説明会等、環境省とも連携し意識啓発に取り組んでおります。

自然保護と利活用のバランスや、島の自然が世界自然遺産としての価値を持つ意味合い、また、島の自然環境を後世に守り繋いで行く価値を再認識して頂くためにも、市民のみならずのご理解・ご協力が必要不可欠なものと認識し

ており、今後も、市民意識醸成に向け、努力してまいります。

問 合併前は3市町村で給与格差があったが、合併後はそれを統一すると聞いた。しかし、今現在も耳にしたところ、やはり差があるようだ。実際のところ、是正・改善されたのか？たとえば、合併前に採用された職員間では勤続年数が同じ場合でも、今も給与に格差があるようだ、どうなのか。

答 職員の給与については、合併時に給料制度、職務分類等を二元化し、新市としての調整を行ったところです。合併以降、地方公務員法における給与制度が何度か改正されており、格差といわれるような大きな違いはないものと考えております。

問 和瀬集落の橋周辺の除草のお願いをしたい。

答 和瀬集落を流れる和瀬川の中のススキ及び牧草等の伐採については、住用総合支所

産業建設課で対応いたします。現在は、建設係で業者に見積を依頼し早急に伐採作業に取りかかりたいと思っております。

問 名瀬本庁舎の完成予想図や周辺の状況、建設に係る歳出や財源の内訳などを提示してほしい。そして、もっと新聞などを通じて広報してほしい。

答 本庁舎建設事業に関しましては、奄美市ホームページや広報紙にてお知らせしております。また、名瀬総合支所1階ロビーに完成模型や完成写真を展示しております。今後、免震装置見学会等を通じて広報していきたいと考えております。

その他、会場で出されたご質問やご意見及びアンケート結果については、奄美市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

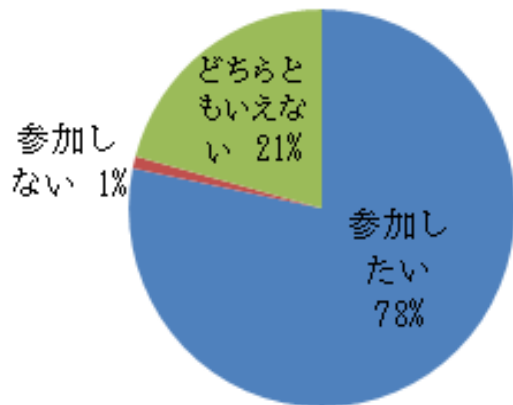
議会報告会当日の アンケートから

参加者数 114人
アンケート回収数 101人

(あなたの年齢は)

無回答： 1人
20代： 1人
30代： 4人
40代： 5人
50代： 17人
60代： 48人
70代： 19人
80代： 6人

(次回も参加したいですか)



参加者からの 意見や感想

【議会報告会の参加者を増やすには】

○平日以外に開催しては
いかがですか。
○自治会等に限らず、老
人クラブやその他の団体
に周知してはどうか。
○校区、集落等の単位で
開催したら良いと思う。
○若者の参加を検討しな
ければいけないと思う。
○毎回出席されている方
は決まった人が出席され
ている。欠席者の中から掘
り起こしに力を入れるこ
と。
○町内のマイクで放送して
も聞こえないので、自動車
にて順次放送していただ
ければ参加者も増えるこ
と。
○議会報告会という名称
を変えた方が良いと思う。
中身は一緒でも呼び名を変
えると増えるのでは。

【議会報告会でどのような
情報が知りたいか】

○奄美市の将来の施策方
向性を具体的に知りた
い。
○所管事務調査につい
て、もう少し詳しく知り
たかった。
○結果の報告だけでな
く、議論の状況も少し入
れてほしい。
○現在、奄美市が発注し
ている公共事業工事の進
行状況を知りたい。おが
み山トンネル工事はどう
なっているのかなど。
○奄美市の人材育成につ
いて、もっと充実した報
告をお願いしたい。
○生活に密着した情報を
具体的に教えてほしい。
○議員各位が市民の公僕
として当局のチェック機
能を果たしているか。
【議会に対して望むこと】
○もっと市民の声を大切
に。人口減少防止めの施策
を議論して、将来の奄美

の姿をにらんで議論を。

○地区の要望を聞いてほし
い。地区の施策を報告して
ほしい。給食センター進捗
状況はどうなっているか。
校区ごとの説明会を開催
行政に働きかけてほしい。
○市民が多く参加できる
休日議会を開いてほしい
です。(定例の3月、6月、
9月、12月議会のそれぞ
れ一般質問の傍聴)
○行政とは是々非々の立
場でしっかりと頑張っている
姿を示してほしい。市民の
リーダーとして、市のあら
ゆる活動に参加してリー
ダーシップを発揮して下さ
い。
○人口流出は避けられな
い喫緊の課題であるのは
間違いないのですが、具
体的な施策はありますか。
国立公園指定、世界自然
遺産登録へ向けて解消で
きる具体的な施策はありま
すか。
○世界自然遺産を目指す

なら、①自衛隊ミサイル
部隊②辺野古への岩ずり
③産業廃棄物の島外から
の受け入れを止めてほし
い。

○議員の所管事務調査は、
テーマを絞って的確に確実
に結果を出すこと。所管
事務調査は2年に1回で
よい。議員の厚生年金は
必要ない。国民年金の底上
げが重要。

○健康に留意し、初心を
忘れず地域住民の為、精
進してほしい。

○市民の意見が多く出た
ことは、これが議会報告
会である。議会議員の皆
様も質問に対し速やかに
応答されている雰囲気
に感謝したい。

皆様から貴重なご意見
やご要望をいただきまし
た。今後の議員活動の中
で有意義に活用させてい
たください。議会報告会へ参加
いただきありがとうございます。
奄美市議会

平成 28 年度の政務活動費を報告します

《議員 1 人当たり月額 22,500 円 年間 27 万円を上限》

交付申請額（全体）648 万円のうち 528 万円（81.5%）を活用しました

（単位：円）

項目	〈支出額の使途〉								支出額の合計	政務活動費の支出額	市への返還金
	調査研究費	研修費	広報費 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務所費			
共産党 (2人) 三島、崎田			170,155				50,896	324,540	545,591	540,000	0
関 誠之		167,420	128,120			42,178	43,531		381,249	270,000	0
与 勝広	90,231					17,368			107,599	107,599	162,401
大迫 勝史	151,160	15,000				35,652			201,812	201,812	68,188
橋口耕太郎	151,442	15,000	2,214			7,385	16,200		192,241	192,241	77,759
栄ヤスエ	160,870	15,000				29,154	7,236		212,260	212,260	57,740
伊東 隆吉	214,520						56,557		271,077	270,000	0
元野 景一	265,190								265,190	265,190	4,810
川口 幸義	207,810					7,500			215,310	215,310	54,690
奥 輝人	192,474				66,100		8,400		266,974	266,974	3,026
平川 久嘉	183,614						69,516	18,390	271,520	270,000	0
竹山 耕平	66,720			116,910			52,653		236,283	236,283	33,717
師玉 敏代	192,060		26,452				47,013	8,390	273,915	270,000	0
橋口 和仁	66,740						68,592		135,332	135,332	134,668
多田 義一	287,800								287,800	270,000	0
安田 壮平			272,800						272,800	270,000	0
里 秀和	70,100	99,500					48,049		217,649	217,649	52,351
西 公郎	280,732								280,732	270,000	0
松山さおり	78,580						36,876		115,456	115,456	154,544
津畑 誠	81,028						13,650		94,678	94,678	175,322
戸内 恭次	54,420						133,563		187,983	187,983	82,017
渡 雅之	55,420	5,000				19,576	58,550		138,546	138,546	131,454
林山 克巳	125,540	15,140					5,661	120,561	266,902	266,902	3,098
総 計	2,976,451	332,060	599,741	116,910	66,100	158,813	716,943	471,881	5,438,899	5,284,215	1,195,785
構成比	54.7%	6.1%	11.0%	2.2%	1.2%	2.9%	13.2%	8.7%	100.0%		

※政務活動費は、年度初めに 1 年分を会派又は議員に交付し、年度終わりに年間の収支報告などを議長に提出。支出額が年間 27 万円に達しない場合、残額は市へ返納されます。

詳細については閲覧可能です

領収書や収支報告書などは、議会事務局に保管されています。これらの資料の閲覧を希望される方は、議会事務局までお越しください。

常任委員会の 所管事務調査

市議会には3つの常任委員会がありそれぞれの委員会に分けて市政について専門的に担当して審議しています。

各委員会では全国の先進事例を参考にするため、1年1回、現地に赴いて調査を行っています。なお、委員の派遣については、調査の内容等を議会本会議において諮り、許可しております。

5月に調査を行いましたので、紙面で報告いたします。

総務企画委員会

○参加者

橋口和仁、関誠之、里秀和
伊東隆吉、平川久嘉、安田壮平、
栄ヤスエ、松山さおり

○調査日程

5月8日～5月11日

○調査場所と調査事項

①秋田県秋田市
国際教養大学の創設過程と現状の課題について

②東京都荒川区

荒川区民総幸福度に関する取



板橋区役所にて



国際教養大学にて

組みについて
③東京都板橋区
板橋区における指定管理者制度のあり方について

産業建設委員会

○参加者

多田義一、戸内恭次、与勝広、
川口幸義、西公郎、三島照、
津畑誠、師玉敏代

○調査日程

5月9日～5月12日

○調査場所と調査事項

①愛媛県松山市
ミカンの加工品開発及びミカンの流通体制について
②徳島県神山町
高速ブロードバンド環境を活用した企業誘致に関する取組について



J A全農えひめにて

文教厚生委員会

神山町古民家を利用したサテライトオフィス前にて



○参加者

渡雅之、元野景一、竹山耕平、
崎田信正、大迫勝史、奥輝人、
橋口耕太郎、林山克巳

○調査日程

5月29日～6月1日

○調査場所と調査事項

①静岡県静岡市
シャフト炉式ガス化溶融炉設備の現状と課題について
②埼玉県上尾市
NPO法人ふれあいねっとの活動の現状と課題について



静岡市西ヶ谷清掃工場にて



練馬区役所にて

③東京都練馬区
地域猫活動の取組と現状と課題について

第 2 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
報告第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（専決第 5 号 奄美市税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認	本会議
報告第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（専決第 6 号 奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認	本会議
報告第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（専決第 7 号 奄美市名瀬総合体育館条例の一部を改正する条例の制定について）	承認	本会議
報告第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（専決第 8 号 平成 29 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について）	承認	本会議
議案第 41 号	平成 29 年度奄美市一般会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	全委員会
議案第 42 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 43 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 44 号	平成 29 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 45 号	奄美市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 46 号	奄美市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 47 号	奄美市飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 48 号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第 49 号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第 50 号	財産の取得について	原案可決	文教厚生
議案第 51 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第 52 号	過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第 53 号	平成 29 年度奄美市一般会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	本会議
発議第 4 号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第 5 号	北朝鮮のミサイルに備え避難訓練等の実施を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第 6 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消をはかるための、2018 年度政府予算に係る意見書の提出について	原案可決	本会議

請 願 ・ 陳 情 の 状 況

受理番号	件 名	提 出 者	議決結果	付託委員会
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択に関する請願	鹿兒島県教職員組合 奄美地区協議会 議長 高 幸広	採択	文教厚生

第2回定例会 常任委員会の審査概要

第2回定例会における常任委員会では、6月21日に文教厚生、22日に産業建設23日に総務企画のそれぞれで委員会が議案・陳情等について審査しました。常任委員会での審査について紹介します。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案8件及び請願1件を審査し、議案8件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願1件を採択すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、離島留学制度PR等業務委託料として1840万円、住用町市へき地保育所工事請負費として1380万円、社会福祉主事資格研修会負担金として48万3千円、長浜教職員住宅工事請負費として700万円、小中

学校の校長室、職員室等のクーラー設置工事費として2910万円、奄美振興会館工事請負費として3500万円、国民体育大会推進協議会負担金として60万5千円、名瀬・住用地区学校給食センターの機械器具費を1億5513万1千円減額し、工事請負費として同額の1億5513万1千円を計上した等の説明がありました。住用町市保育所工事請負費について質疑があり、白アリの被害により建物全体に被害が及んだので工事を行うとの説明でした。社会福祉主事資格研修会について質疑があり、神奈川県全国の社会福祉協議会中央福祉学院で4日間のスクーリングを行うとの説明でした。奄美振興会館工事請負費について質疑があり、文化センターの普通駐車場3106台、身障者駐車場3

台、合計109台整備されるとの説明でした。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとして、本年度から始まった介護予防・日常生活支援総合事業において、窓口での相談業務を充実させるため社会福祉士臨時職員を雇用するものと説明がありました。

工事請負契約の締結については、名瀬・住用地区学校給食センター新築工事1工区と2工区で合計約5億1200万円の工事で平成30年5月15日完成予定と説明がありました。

奄美市飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の制定の主な改正点は、第15条の指導、勧告及び命令の規定及び第16条の過料の規定との説明がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案1件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、奄美群島「結

いの島」農業モデル事業について質疑があり、この事業は県の地域振興推進事業を活用すること、奄美市では有機農業支援センターで作る堆肥が原料不足となっていること、さとうきびにおける有機肥料の使用が6%程度に留まっていることを挙げ、事業導入におけるさとうきびの反収アップ実証や、堆肥の農家普及を図るため、奄美群島で反収が最も高い与論島から280トンの堆肥を取り寄せ、認定農業者を中心に公募を行い、3年間を目安に効果実証を行うとの答弁がありました。

また、ICTプラザかさに係る修繕費について質疑があり、ICTプラザかさは平成24年4月から供用開始されており、5年が経った現在、耐用年数を経過したUPS（無停電電源装置）を交換し、停電等に備えるものとの答弁がありました。

また、道路の伐採作業員の稼働状況について質疑があり、住用地区において市

道で4名、農道、林道で2名の伐採作業員を確保しており、1月につき15日勤務だったものを20日勤務に増やすことにより、道路の維持管理がより進むものである。伐採作業は道路のほかにも市民の要望により適宜柔軟に対応していきたいとの答弁がありました。

また、スポーツアイランド戦略推進費を商工費から教育費へ組替えることについての質疑があり、窓口等の引継ぎは、同じ行政としてしっかり連携を取ってやっていくこと、28年度にスポーツ合宿業務を担当していた職員が教育委員会に異動したので支障はないとの答弁がありました。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案5件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、防災行政無線にかかる戸別受信機の設置手数料として役務費54万1千円を計上したとの説明がありました。委員から、内容についての質疑があり、名瀬、住用、笠利の3地区の消防職員の異動や消防団員の退団・入団、自治会等の役員改選に伴い必要となった戸別受信機の新設・移設に要する経費であり、確実に災害情報等を届けるために必要であるとの答弁がありました。

次に沖縄県石垣市で開催される全国離島交流中学生野球大会（離島甲子園）関連での229万7千円の計上について、委員から参加決定までの経緯について質疑があり、当局は①全国規模の大会であること②今年度は10回目の記念大会であること③開催場所が石垣島で世界自然遺産登録を共に目指す奄美・沖縄の相互理

解・交流に資するという点が参加に至った経緯であるとし、市内中学校から選抜して奄美市代表1チームが参加するとの答弁がありました。委員から、今後、奄美市での開催を検討できないかとの質疑に対し、継続して参加することによって開催への素地を整えて行きたい。また、初めての出場なのでPRや周知を図っていききたいとの答弁がありました。

その他に、情報システム運用業務の補正計上に関する内容について委員から質疑があり、庁内で使用しているインターネットへの接続について、接続点を県内のデータセンター1箇所に集約し高いレベルでのセキュリティ対策が維持でき、ウィルス対策や不正侵入の防御能力を上げることが可能になるとの答弁がありました。

表彰状の伝達式

去る5月24日、東京で開催された第93回全国市議会議長会定期総会で伊東隆吉議員が15年永年在職議員表彰を受けられました。
第2回定例会の最終本会議終了後に、全国市議会議長会から送られた表彰状の伝達式を行いました。



伊東隆吉議員



議 会 の 動 き

- 平成29年 5月 2日 議会運営委員会・議会だより編集委員会
 8日 平成29年度奄美市体育協会総会・交流会
 総務企画委員会所管事務調査（8日～11日）
 9日 産業建設委員会所管事務調査（9日～12日）
 14日 平成29年度奄美市笠利生涯学習講座開講式
 奄美群島国立公園記念式典・祝賀会
 15日 全員協議会
 18日 第60回奄美群島市町村議会議員大会（与論町）
 23日 鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との意見交換会（東京都）
 24日 全国市議会議長会第93回定期総会（東京都）
 27日 奄美大島商工会議所青年部第31回通常総会
 28日 平成29年度奄美市名瀬・住用地区生涯学習講座開講式
 29日 文教厚生委員会所管事務調査（29日～6/1日）
 6月 2日 議会報告会（AiAiひろば・浦上公民館・住用総合支所・笠利総合支所）
 5日 奄美市議会第2回定例会招集告示・議案配布
 7日 議会運営委員会
 13日 奄美市議会第2回定例会開会、議会運営委員会
 14日 一般質問 渡議員、師玉議員、崎田議員、大迫議員、津畑議員
 15日 一般質問 三島議員、松山議員、川口議員、橋口（耕）議員、関議員
 16日 一般質問 奥議員、戸内議員、多田議員、安田議員、伊東議員
 20日 本会議、全員協議会
 21日 常任委員会（文教厚生）
 22日 常任委員会（産業建設）
 23日 常任委員会（総務企画）
 29日 第71回県体・第58回大島地区大会奄美市選手団の結団式
 30日 議会運営委員会、奄美市開発公社評議員会
 7月 3日 最終本会議・永年在職議員表彰状の伝達式
 6日 平成29年度全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会（青森県）
 12日 平成30年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会
 24日 議会運営委員会
 25日 奄美市名瀬・住用地区学校給食センター安全祈願祭
 27日 鹿児島県市議会議長会定期総会（出水市）

編集あとがき

議員活動をする際、手本とすべき「議員必携」という本がある。その中に「議員の心構え」という項目がある。基本的な心構えとして

①住民全体の代表者である②執行機関と一歩離れ、一歩離れるな③批判するには、代案をもってせよ④実質的な審議が大切⑤住民の声や心を代表する⑥勇気と奮起が政治家の要素の六つがある。これは、国会議員にも当てはまることだが、昨今の報道を見ると、政治家ひとりひとりがこの「心構え」を心肝に染めていいるだろうか？と疑いたくなるような報道を見かけることが多いように思う。

私は、前回の改選で、初当選させていただき約2年前から議員活動を開始。この議員必携を常に携え、活動にのぞんでいる。紹介した文はこの本の結びに記載されており、アンダーラインを引き何度も読んで自身に問いかけている。

今、議会では議会活性化ワーキンググループを立ち上げ、開かれた議会を目指し活発な議論を行っている。まだ課題は多いが「住民全体の代表者である」との自覚を忘れず精進していきたい。

（橋口 耕太郎）

市議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

師玉 敏代
松山 さおり
関 誠之
安田 壮平
崎田 信正
伊東 隆吉
橋口 耕太郎
林山 克巳